様式３(2020.08改)

作成日　令和２年１０月５日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500352
事業所名	サポートハウスおおばり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍の中、地域交流が従来のようにはできないが、これまでは自治会(盆踊り)や地域の子ども達(お月見どろぼう)と積極的に付き合ってきた。 地域の人がグループホームを知りたいと見学に来ることもある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	民生委員･いきいき(地域包括)支援センター職員等が出席しており、地域資源の情報提供がある。 年間3回は同法人の他ホームとの共催であり、8月は久々に開催された。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政対応は法人本部が担っているが、いきいき支援センターとは密な情報交換がある。 生活保護受給者の受入れがあり、外出や買い物等で費用が発生する時は、他の利用者と差が生じないよう配慮している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	職員だけでなく、法人代表や本部長も利用者や家族と話す機会を持ち、何でも話せる風通しの良いホームにしている。 利用者が職員に注意することもあり、利用者が職員の教育係となっている一面もある。 利用者の様子やホームの取組みを伝える｢サポートハウス通信｣が、毎月家族に届けられる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

3月と5月は、運営推進会議の開催見合せの連絡を行って会議メンバーから意見を収集している。
7月度の開催は1ヶ月遅れとなったが、8月に同法人の他ホームとの共催で通常の形で開催された。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										